

平成 26 年 7 月 10 日

7 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、天候不順のなか間伐主体に順調。入荷量はスギ間伐材を中心に平年上回る。スギは大手製材工場が柱材の原木確保に積極的、中目材は虫害の懸念から慎重な手当。ヒノキは入荷量が少ないにもかかわらず、低調な引合いが続く。価格は全般的に横這から値下がりに転じ、スギは値上がりが続けていた柱材が高止まりのまま横這、中目材は弱含みで値下げ。ヒノキは中目材が弱保合、柱材は弱含みで値下がり続く。このため柱材はスギとヒノキの価格差がわずか数百円となり、今後の価格動向が注目。群馬の製材工場の操業状況は良好で在庫の積増し中。原木の出材は梅雨期のためスギ、ヒノキ、カラマツともに減少し在庫も減少。建築用原木の入荷少なく、集荷は多少困難。虫害の懸念から積極的な在庫は避ける。製品の販売は全体的に悪く、小売業者は依然として暇な状況。8 月後半からの見積り物件が増え、一部では明るい兆し。製品在庫は 7、8 月で吐き出され、秋需要前に再度積み増しの予定。スギ製品価格は一時期よりは下落したが安定。ヒノキは下落が激しい。バイオマス発電用の C 材と合板向け短尺材の出材は順調の様様。

2. 米材

米国産米マツ丸太は、日本からの引合いが低調で、4 か月連続で \$ 20/千スクリブナー (約 \$ 4/m³) 値下げ。中国向け販売価格も下落しており、原木サプライヤーは生産調整中。カナダ丸太も日本・中国の引合い落ち価格調整始まる。日本・中国向け配船がスローダウンしており、原木の生産調整も始まる。港頭在庫は減少。ウェアハウザー社の 7 月積み米マツ IS ソートは、前月比較 \$ 20 下げの推定 \$ 830。米材原木の入・出荷は横這、在庫はやや増加。国内の米材製材工場は、消費増税駆け込みの反動減に梅雨の不需要期が重なり、大型港湾工場、内陸部中小工場ともに生産調整。米製材品の TLT(東京木材埠頭) 6 月の入荷量は 36.3 千 m³ で前月比 8.2% 増、出荷量は 31.1 千 m³ で前月同、在庫量は 63.1 千 m³ で 9.0% 増。5 月の米国新設住宅着工戸数は、年率 100.1 万戸で前月比 6.5% 減、対前年同月比 9% 増。大きな勢いないが 100 万戸前後をキープ。産地価格は対日向け DF KD STD J グレードは先月に引続き弱含み。角 \$ 470/m³ 前後、垂木は \$ 480/m³ (CIF) での取引。ランダムレングス紙発表の 15 種平均価格は、6 月中

盤から上昇傾向。米国独立記念日や夏季休暇前の手当に動いたが、7/3の価格は前週比で横這。ジリジリと値が下がっている状況なので、各社当用買いに徹し荷動きは停滞。産地側が価格の下げに応じてきても、積極的な契約に至らず。現在は高コストの物が入荷しているため、輸入業者や先物契約の流通業者は逆ザヤの商売となっている。

3. 南洋材

サバは好天が続き原木出材は順調だが、断食月に入ったため一時的な出材落ちが予測される。伐採箇所が減少している中で、日本向けの良木太材は慢性的に不足し、輸出も好調なため価格は下がらない。原木高値に連動して製品価格も強含みのまま推移。サラワクの本木出材は安定しているが、サバ同様良木太材が品薄で強気な姿勢続く。周辺諸国の多くが丸太を輸出禁止している中で、サバ、サラワク両州へインド等各国の買付が集中しており、今後も基本的には価格は強含みで推移すると予測。PNG ソロモンは中国勢の買いが一段落したが、価格は高値横這。南洋材丸太の入荷は増加、出荷・在庫は横這。製材品の入荷も横這。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品の販売は、集成材、製材共に荷動き悪く、平割類、デッキ材を除き依然当用買いが主流。

4. 北洋材

シベリア地方は、アカマツの夏切材の伐採・搬入始まる。行き先は国内製材工場と中国内陸部。相変わらず中国向けは多いが、今までの勢いはなくなる。ロシア国内の各工場とも日本向け製品は減産傾向で、中近東向けを増やす流れはあるものの、政情不安のあおりを受け厳しい状況。富山新港の6月丸太入荷量は6.5千 m^3 （アカマツ3.0千 m^3 、エゾマツ3.5千 m^3 ）原盤は8.4千 m^3 。在庫は2ヶ月。価格動向は、丸太はアカマツ横這、エゾマツ・カラマツ弱含み。製材品も国内挽きは弱含み。荷動きは現地完成品、30×40グレードがどん底。製材品も動きなく低調。国内製材工場は丸太、原盤とも不採算。稼働状況は荷動きの悪さが影響し引続き生産調整。受注は大幅に減少し、少量対応が主体。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、強含み横這状態続く。ヒノキは引続き供給難。外材は南洋材、米材、ロシア材ともに他国からの需要が旺盛で、強気での推移。5月の国内合板生産量23.8万 m^3 のうち針葉樹合板は22.2万 m^3 で、出荷量は17.9万 m^3 と3か月連続で生産量が出荷量を大幅に上回る。在庫量は15.9万 m^3 で一挙に増加。6月の販売価格は、メーカー建値に対してどこが本当の価格かわからない状況。7月に入りメーカーは建値30～40円値下げを打出したが、市況の悪さ

から更なる安値が散見され予断を許さない状況。国産針葉樹合板の需要は依然盛り上がらない。メーカー在庫も増加傾向で、各社7月生減産を打出す。価格も商社、問屋の売り焦りから乱れた状況。輸入合板も需要少なく、荷動きは依然低調なまま推移。12mmは現地コストを割り込んでいるものの、価格は弱含み状態が続く。先行き、針葉樹合板の30~40円値下が、そこで止まるかどうかは需要次第だが、メーカーも減産を打出しており、徐々に需給バランスは取れてくるものと予測。輸入合板は弱含んではいるが、商社のコスト割れも長引いてることから、流通では暫く綱引き状態が続くと予測。流通在庫は国内、輸入ともにすべてのアイテムで潤沢な状況。ラワン構造用合板12mmは荷余り状態。

6. 構造用集成材

原料ラミナの現地生産、入港ともに順調。原木は西ロシアを除き潤沢。国産集成材の受注・荷動き共に弱含み、在庫多くラミナも増加傾向。販売先行きは建築物が秋口まで少なく、荷動きの悪さも9月まで継続の可能性。製品価格は弱含み。国内価格の安値感から、輸入製品の契約は難航。輸入集成材は入港少なく、販売は弱含み。15号地の港頭在庫は少ないが、内陸の倉庫に移動しており、流通在庫は増加傾向。6月は荷動きが急激に止まった感がある。国内集成材メーカーは、今後原材料高と製品安が見込まれる中で、大幅な減産へと向かうと予測。

7. 市売問屋

国産材構造材はスギ、ヒノキとも依然動き悪く、価格も相場安感に歯止めがかからない。造作材はこれまで順調だったリフォーム需要の勢いが落ち、梅雨期と相まって引合い鈍る。外材構造材は、米ヒバ、米ツガ、米マツ梁の動き悪く相場も軟調。造作材はスプルー、米ヒバ、ピーラーの荷傷み感強く、在庫意欲が低調。市場への来場者は、仕事量の減少で様子見や必要当用買いに徹している。消費増税後の需要の落込みが激しく、荷動き、製品値下がり等停滞感が一向におさまらない。先行の不透明感が強い。

8. 小売

国産材の構造材はスギ弱保合、ヒノキ柱、土台とも弱保合。外材はロシアアカマツ垂木弱保合、米ツガKD角、平割、SPFいずれも保合。造作材はスプルー、ス良材保合、ナラ・タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも弱保合。合板は針葉樹が弱保合でラワンは保合。床板、フロア材保合。プレカット工場は5月以降木材市場からの加工依頼が増加。工務店は、リフォーム中心に仕事は出てきているが、細かい仕事となっている。新築物件も少なく8月以降期待したい。

7月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	↘
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↘
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	↘
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オンタ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↘	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↘	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ (3.0×4.0×3.8m) 特等	↘
			アカマツ (3.0×4.0×4m) 特等	↘
			カラマツ (10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→